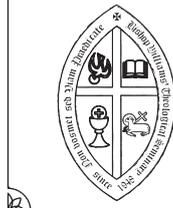


日本聖公会
ウイリアムス
神学館ニュース

2022年
第 113 号

The Bishop Williams
Theological Seminary NEWS

日本聖公会京都教区
発行・編集人：黒田 裕
〒602-8011
京都市上京区桜鶴門町380
TEL：075-431-5406
FAX：075-431-5445
williams@muc.biglobe.ne.jp



聖書、表から読むか

裏から読むか

関西学院大学 前川 裕

聖書をどこから読むか。普段意識しない問いかもしれません。「聖書は頭から通して読むものだ!」という方もいらっしゃるでしょう。気の向くままに開いて読むのだ、という方もあるかもしれません。聖書は分厚いだけに、それぞれの楽しみ方があるのではないのでしょうか。

私は聖書を買うと(といっても新しい翻訳が出た時くらいですが)、後ろから開く場合が多いように思います。それぞれの聖書には資料編のような部分がついていて、それは往々にして後ろの部分にあるからです。試みに聖書協会共同訳を後ろからめくってみると、「付録目次」というものが現れます。実は聖書冒頭の目次にも「付録」の内容は列挙されているのですが、なぜか付録のページ数は記載されていませ

ん。巻末目次にはページ数があります。付録の最初は「聖書地図」で、聖書協会共同訳ではフルカラーになりました。地図は聖書の内容を理解するために大切な資料です。

続けて「聖書について」という聖書の概説があります。これはむしろ聖書の冒頭に載せるべきではないかと思いますが、いざ読んでみると、なかなか良い説明です。そして「用語解説」があり、聖書に出てくる主な用語についての解説がつけられています。曖昧に理解していた用語の理解を深めることができます。

その次は「旧約聖書章・節対照表」で、これは口語訳聖書と新共同訳・聖書協会共同訳との章・節のズレを説明したものです。口語訳聖書に親しんだ方には、「あれ覚えていたのはどの箇所がない?」という経験をした方もいらっしゃるでしょう。このズレも聖書学の進歩を示すものです。

次が「新約聖書における旧約聖

書からの引用箇所一覧表」です。新約聖書にはしばしば旧約聖書の引用がありますが、その出典を記したものです。「この聖書引用はどこからなのだろうか?」と思った時に役立ちます。なお「LXX」、七十人訳ギリシア語聖書からの引用とされている場合、現在の日本語訳とは内容が異なっている場合があります。最後に「度量衡および通

道を伝えて

貨」の説明があります。古代の単位はカタカナだらけですが、ここでその具体的な数値を知ることができます。聖書を裏から読むと新たな発見があるかもしれません。それはきつと聖書の理解を深めてくれることでしょう。

(まえかわゆたか本館教授
新約学、ギリシア語Ⅱ)

最近、子どもが花や昆虫の図鑑を拡げているのを一緒に見ながら、自分が小さい頃にどんな図鑑を見ていたかを思い出した。何度も読んで印象に残っているのは、宇宙についての図鑑である。現在とは恐らく大幅に異なる内容だと思いが、宇宙の端と始まりが何らかのかたちで存在する、という点が興味深かった。宇宙の端には誰も行ったことがなく、また宇宙の始まりの時に人間は存在しなかったのに、どうして分かるのだろうか、と子供心ながら考えた記憶がある。

講義や論文の準備などで神の存在論に触れようとすると、無

限で永遠な神、という概念が繰り返して出て来ることがある。無限も永遠も、本来の意味は私たちには分からないはずである。古代の人々も同じように考え、一部の神秘主義的思想家は「否定の道」というものを発展させた。すなわち、神は有限では「なく」、始まりや終わりをもち存在では「ない」というように否定形を用いて神を叙述する方法である。有限が何かということなら、私たちにも理解できる。私たちが自らの有限性を認識しつつ、無限の存在に目を向ける重要な思考形式(道)の一つを、古代のテキストは教えてくれているように感じる。

(津田謙治 つだけんじ
本館教授 教理学特講)

スー・イエー姉を偲んで

司祭 岩城 聰

2018年度に行なわれた本館の米国研修でも現地で大変お世話になりました。ジョン・イエー先生のご令室、スー・イエー姉が9月27日急逝されました(ご葬儀は10月8日、ヴァージニア神学校インマヌエル・チャペルにて執り行われました)。大変な驚きと共に心から哀悼の意を表します。スー姉の遺徳を偲び、ご生前より親交の深かった岩城聰教授にご寄稿いただきました。

私が川口基督教会に転任(2012)して間もない頃、ヴァージニア神学校の教授だという一人のアジア人男性が川口教会を訪ねら

ウイリアムス神学館を卒業して20年以上経過しました。館長の黒田司祭には、教会実習でお世話になりました。彦根まで移動するJRの中でも考えていたことは、召命について。召命に確信が持てないがゆえに進むべき方向性

れた。ジョン・イエー先生だった。

アジアの聖公会の社会宣教についての研究をまとめておられたところ、台湾の主教から日本については岩城を訪ねるようにと紹介されたとのこと。そこで日を改めてホテルに伺い、聖公会生野センターと博愛社にご案内することになった。その後、2回目に日本に来られたときにはスーさんが同行し、私たちのおつきあいが始まった。それから、私たち夫妻のヴァージニア訪問、ウイリアムス神学館の訪問と、本当にスーさんにはお世話になった。初めて招かれたディナーには、特大のロブスターのご馳走。その大きさには驚いた。神学館のメンバーが

が定まらないので常に悩んでいました。神学館がどんな場所なのかを漠然としか知らずに入学した私は聖職候補生ではなく、志願者でもなく、何の肩書もない一信徒。神学館のスタッフから見れば、突然入学した北海道の神学生はとりあえず1年だけ学ぶつもりでその後の事は全く見通しが立っていない状態で、一体何をどう指導す

早朝の列車でニューヨークに向かうときには、温かいおにぎりのお弁当を一人ひとりに持たせてくださったその思いやりが、あの温かい笑顔と共に、忘れがたい思い出になっています。

ご夫妻のご自宅にて「スー」というのは実は姓で、「蘇」という字の中国語発音が「スー」というそう。お名前の方は「ミンチュン」らしいが字は分からない。ジョン・イエー先生(名字は「葉」と結婚されたからは、ずっと「スー」で通しておられる。スーさんは台湾でお生まれになり、神学校をご卒業になり、台北の「マツケイ記念病院」のチャプレンとして働かれ、イエー先生とご結婚になって1985年に渡米された。イエー先生の妻としては、

るべきか悩ませただろうと思えます。私は単純に、キリスト者として神様に奉仕する生き方を選びたいと願っていただけでした。この願いが一体どの道につながるのか、それは誰かが示してくれるのか、どうかそのうち自然にわかるのか、どのように見つけるものなのか、そもそも間違っているのか、答えが見出せずにいました。本来はちゃ

ヴァージニア神学校の中で献身的にご奉仕され、神学校の皆さんから愛された。67歳の人生のすべてを神と人にとん献げた素敵な女性だった。スーさん、どうぞ主のもとで安らかにお休みください。

(いわきあきら 本館教授
牧会と宣教、教会史、教理学)



ご夫妻のご自宅にて

同窓会通信

んと答えが見つかってから入学すべき場所でした。ね。それでも3年悩みながら学んだ末に聖職候補生に志願し、現在に至ります。私は今、北海道の田舎のパン屋に住んでいるおばちゃん牧師。毎日夫が焼いたパンを並べながら、感謝と祈りを捧げています。
(北海道教区司祭ヘレン 木村夕子)

ウイリアムス神学館 体験入学

道を知り、己を磨く

九州教区福岡聖パウロ教会

モーセ 酒井 健

楽しい時間は早く過ぎるというが、まさにそうだった。たかだか二泊三日で、神学校の何たるかをすべて知ることなどできるはずもないので、とにかく楽しもうとの思いで臨んだ今回の体験入学。飛び込んでみての第一印象は、建物の温かさ。古い(失礼!)木造独特の、そこで過ごした人々のそれぞれの思いがしみこんだ空気を感じた。

セッションを通して、聖職への過程で身に着けるべき知識・見識の一端を垣間見ることができ、同時に神学校の建学精神である「道」を伝えて、己を伝えず」がひしひしと伝わってきた。

また、それ以上に黒田館長や神学生のみなさんとの雑談の中で、これまで漠然と持っていた、教会への思い、聖書への思いに共感していただけることが多々あり、これからも聖公会での信仰生活を送

ることへの安心を得られた。

キリスト者としての正解というものはないのかもしれないし、どこにもないのかもしれない。しかし、信仰を通して出会った人々とのつながりは、どんな形であれ正解ではないかありえない。たとえそこに対立が生じたとしても、それは神からの問いかけではないか。

共同生活を通して、道を知り、己を磨くヒントを得る。この喜びの庭に招いてくださった、主に感謝。

やつとかなった

ウイリアムス入学

京都教区宮津聖アンデレ教会

ヨハネ 山口 弘

この様に体験入学という形で許されるとは、思いもありませんでした。

私を聖公会へと導いて下さったのは、岡野利治司祭(当時)。河原町五条の執務室であのやさしい笑顔で迎えて下さったのが始まりです。岡野司祭は、次の様な私でもやさしく受け入れて下さいました。

毎日育ての母の跡を追いかけて、御言葉の響きを聴いて育ち、十字架の祈りを、歩き始めた頃より野畑や里山で、祈る事を教えられて

育ち、青年期には修道院に対し心ざわぐ感情がありました。

小学生となった頃、周囲の子供達とは、いつもトラブルばかり。現在で言う「発達障害児」だったからです。低学年の頃は、毎日の下校時隣り集落の子供達から「狂犬病」とのしられ、石を投げられ血だらけで帰る日もありました。育ての母が、生まれた日から御言葉で育ててくれました。これも始まりです。

これらの話の後、岡野司祭が「結婚準備を始めましょう。」と言って下さったのです。この時から京都聖ヨハネ教会での信仰生活が始まりました。洛西伝道の声が出て、京都聖ステパノ教会が設立されました。これも始まりです。しかし、導いて下さった岡野司祭(当時)が奈良へ転勤される事になり、「青天の霹靂」でした。あの小学生時代の「石」がまた私の心の中に投じられた様に思う程のショックでした。

京都聖ステパノ教会が、無牧になると云うことでした。人事は現実のものとなり、しかし、しばらくして、ひとつの光が差し込んで来たのが、「一人の神学生の働き」でした。ウイリアムス神学館で学びながら、ステパノ教会に定住し、現

実の牧会の一端を担って下さったのです。これは信徒にとって大きな慰めとなり、宣教の勇気が甦る事となりました。

ウイリアムス神学館が、教会信徒と共に、明日の一步の為に共働して下さった大事業だったので。その現れは、ステパノ教会の時でした。北の大地からのジャガイモが大変な事になっていたので。ガク然とする私達を励まし、ほんとうに「アーメン」と祈る様定住神学生が導いて下さったのです。やさしい笑顔で、フライパンに油をそそぎ(有)オサラツペ牧場から届いたジャガイモをむだにすることなく、信徒が心をひとつにするよう促し、「ステポロン」と名付けたバザーの新名物商品が出来たのです。

私が北の大地を目差したのも、この(有)オサラツペ牧場からのジャガイモに係わる出来事が有ったからです。北の大地に渡る前日、岡野主教邸へ報告に行った時でした。主教は、ブラジルへ旅立たれる前日だったので。岡野主教は、「行けと云われる所へ行くのです。あなたも北海道へ行けと云われているのですよ。」とやさしく語り

かけて下さったのです。「いかにも自分で決めている気になっていて、事でも、主の見守りの内にある事を覚えなさい。」が旅立ちの指導でした。一般社会生活の中で働く事が、私に与えられた進むべき道でした。

あのステポロンの産みの親は、現在退職してもなお、北の大地で牧会の奉仕を始めて下さっているのです。私が行く先々で、また京都に帰っても、私が願うまえに主は必要な事を準備して下さいるのです。しかもウイリアムス神学館のあの時から、変わるのではない支援をして下さっているのです。今ステパノ教会は、教区ビルの解体により、現神学生を定住地として準備されている事が、とてもふしぎな事でとても感謝にたえない事です。

体験のウイリアムス神学館のドアは、誠に重厚で入館の時間まで自動車の中で待つ事にしていました。「山口さんですか？」前田主事の声で現実の今に呼び戻されました。やっとかかったウイリアムス神学館は、思っていた内容よりも厳しい内容の毎日でした。

プログラムは、体験入学者用に

準備されたものではありませんが、在籍神学生の授業に同席する事が許され、はりつめた空気に緊張しながら時の流れを味わいました。あの時(40年前)に願った自分の入学が許可されなかった事が、主の御心だったのです。今回の私は、ほんとうに自然に入学の申し込みに至りました。入学は、「今あなたが門をたたけ」の声が発せられているかも知れません。

「主は必ず人を介して準備されます。」これも岡野主教からのメッセージです。心静かに日々祈り、多くの兄弟姉妹の為に働く事を続けて行きたいと願っております。

今回の体験が、大きな力となって私の進むべき先の道標とし、祈りと学びを続ける覚悟です。



主事室に新たなメンバ―
が加わりました

なかなかスタッフ体制が落ち着かない神学館ですが、この度新たなスタッフが加わって下さいました。

9月からは津田華枝さん(日本基督教団 西陣教会信徒)、10月からは山田敦子さん(京都聖ヨハネ教会信徒)が主事補として週一回程度ご勤務くださっています。すでに事務、会計、教務等々にご活躍くださり主事室も賑やかとなってまいりました。皆様どうぞお見知りおきください。お二人の主事補さん、今後ともどうぞよろしくお願いたします!

ヴァイア・メディア

最新号のお知らせ

本館紀要ヴァイア・メディア第17号が8月に刊行されました。特筆すべきは昨年度に行なわれた東北研修報告、また、ヴァージニア神学校で読まれている教科書の書評第二弾、M・ラヘブ『帝国に相對する信仰』です。各教会にお送りしております。ぜひ一度、手にとりください。

神学館の2学期

9月

- 6日 2学期授業開始
- 24日 キリスト教講座2学期開講

10月

- 4~6日 体験入学
- 8日 「教会と宣教」 フィールド・トリップ (FT)・ウトロ平和祈念館
- 13日 教会と宣教 FT・東九条
- 17日 ウイリアムス主教記念碑清掃↓雨天のため中止
- 29日 11月5日 リセス

11月

- 12日 教会と宣教 FT・水平社博物館
- 26日 2学期授業終了
- 28日 神学館関係逝去者記念礼拝
- 29日 試験準備・補講週

12月

- 6日 試験週
- 11日 2学期教会実習終了
- 15日 終業日
- 17日 出寮日

